



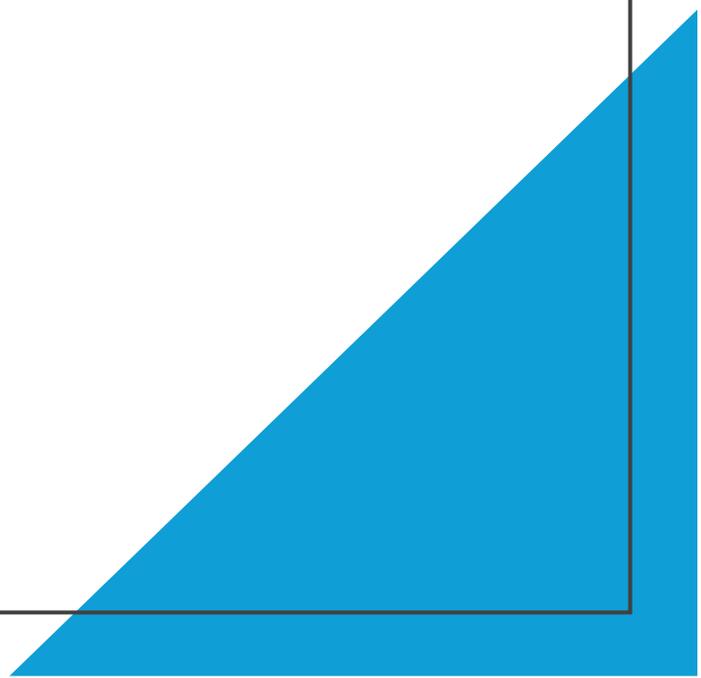
# 大隅線廃線から見る 観光列車の可能性 テーマ2「鉄道」

鹿児島大学法文学部2年 山本尚昌

協力：鹿児島大学乗り物研究会

# 今日のメニュー

1. 大隅線
2. 地域における鉄道
3. 観光列車の可能性
4. 今後
5. まとめ





# 流れ

---

1935年

昭和に入り、自動車が普及し、乗客数が伸び悩み私鉄である大隅鉄道から国に移管

1972年

海潟国分間は難工事（トンネル、橋）、営業費用が赤字（100円の収入のために500円の費用）

垂水市が署名運動（6000人）→日本で鉄道が開通してからちょうど100年で大隅線全線開通

「広報かのや」5頁（鹿屋市、3月13日号、2017年）

# 大隅線の廃線

- 昭和54年（1979年）

「運輸政策審議会」

国鉄の赤字の大きな原因であるローカル線の在り方を検討した報告会  
廃止してバス路線に転換すべき路線

大隅線

- 1980年 **日本国有鉄道経営再建促進特別措置法**の制定

→廃線が現実なものへ

「広報かのや」6頁（鹿屋市、3月13日号、2017年）

# 反対運動の展開

- 昭和56年（1981年）
- 「国鉄ローカル線存続鹿屋市期成同盟会」が発足
- 利用者減少に歯止めをかける
- 廃止基準の輸送密度2000人を達成し維持する…など
- 「カラオケ列車」、鉄道の旅と下車した駅周辺でのウォーキングを楽しむイベント

➡ 鉄道を利用した様々なイベントが企画された

しかし、利用客増加にはつながらず、  
昭和62年（1987年）全線開通から15年で廃線．．．  
「広報かのや」6頁（鹿屋市、3月13日号、2017年）

## 2. 地域における鉄道

- 肥薩線を例に

住民のうち約65%が鉄道での復旧（令和2年豪雨）を希望し、**肥薩線による観光客増を理由**とする人が多く、多くの住民が**地域の観光産業に不可欠**と認識している

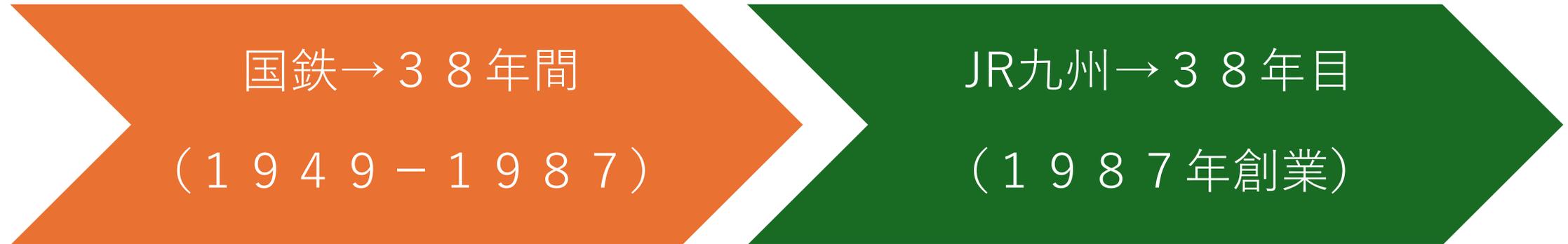
「JR肥薩線復興方針（案）」（JR肥薩線再生協議会、2023年12月）

- 大隅線を例に

**日常生活に不可欠**（高校生の通学）あるいは  
**都市同士を結ぶ手段**

（鹿屋市鉄道記念館への聞き取り）

# 考え直す時期



# 大隅線の廃線

- 昭和54年（1979年）

「運輸政策審議会」

国鉄の赤字の大きな原因であるローカル線の在り方を検討した報告会  
廃止してバス路線に転換すべき路線

大隅線

- 1980年 **日本国有鉄道経営再建促進特別措置法**の制定

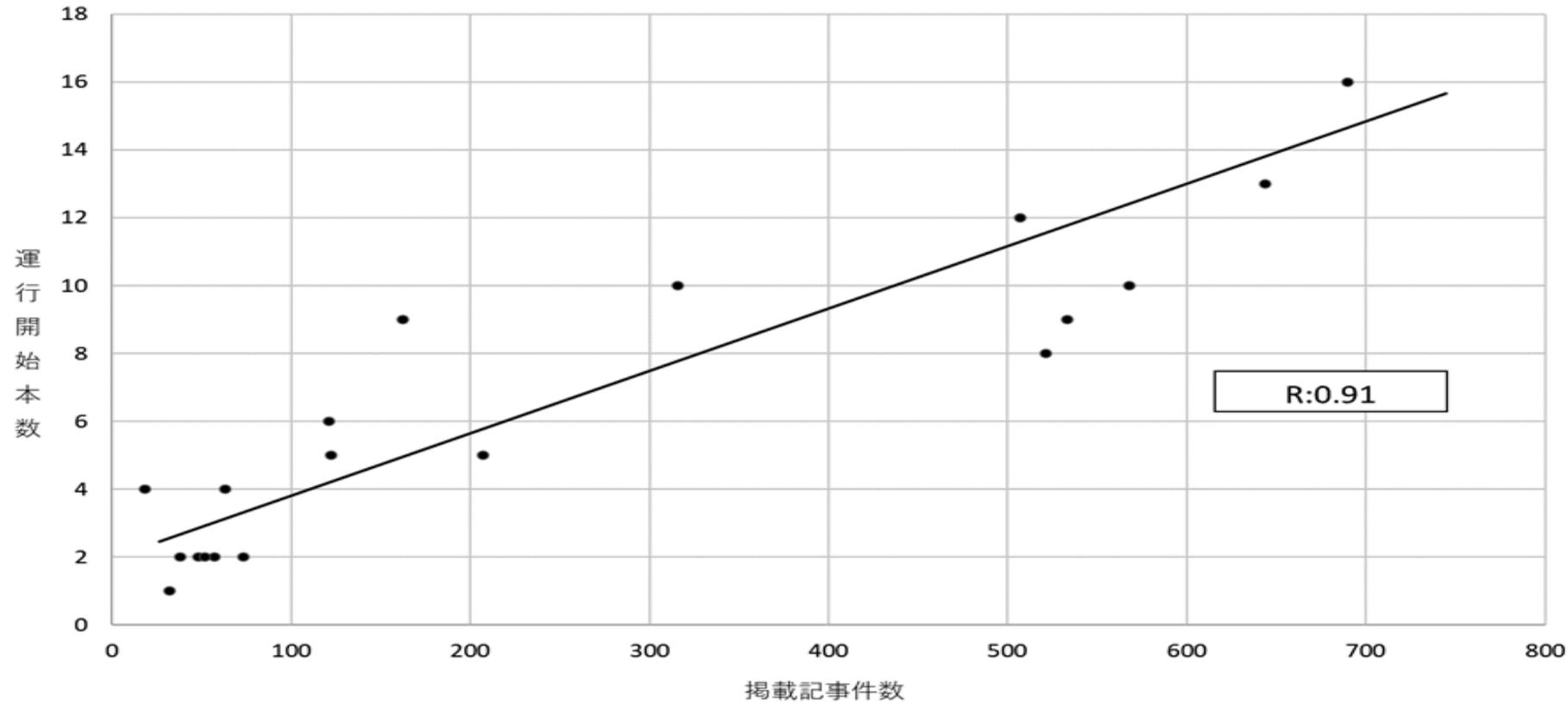
→廃線が現実なものへ

「広報かのや」6頁（鹿屋市、3月13日号、2017年）

### 3. 観光列車の可能性

- 鉄道を利用した取り組みがあった
- 観光列車とは「乗車そのものを目的として、乗客の観光需要（車窓の景観、内装）をみだし、定められた地域を専用車両で運行する列車」張他（2020年）
- 様々な特徴や魅力、地域性を兼ね備えており、地域内へ本格的な需要を創出させる重要な観光資源

# 可能性



2001年か2019年  
観光列車運行本数と新聞掲載記事数の散布図  
張他（2020年）から引用

観光列車運行本数の増加と  
社会的関心度は  
**相関関係**がある

## 4. 今後

- 観光列車を広告塔として、地方鉄道の経営改善のために導入することは有効である
- しかし、観光列車の製造や改装には莫大な投資が必要であり、慎重な経営戦略が求められる

**単に列車を導入するだけではない**

以下のことが不可欠

- 自治体や地域事業者、住民との**協力**
- **季節性の影響の考慮**し、年間を通じた乗客数の均一化のために**様々なイベントを実施**する
- コンテンツが**地域活性化に即したもの**

# 5. まとめ

---

鉄道に対しての需要は存在する

---

日常生活を支えてきたという歴史があるため、  
地域と連携した活用の仕方を模索する必要がある（まさに今その時期である）

---

その一つに観光列車の可能性がある

# 参考文献一覧

- 張茜・麻生憲一「地方鉄道における観光列車の現状と課題に関する一考察」日本観光学会誌61巻13－22頁（2020年）
- 浅井康次「観光鉄道の現状について」運輸政策研究11巻2号55－59頁（2008年）
- 「広報かのや」4－9頁（鹿屋市、2017年3月13日号）
- 「JR九州年表」九州旅客鉄道株式会社ホームページ  
<https://www.jrkyushu.co.jp/company/info/history/history01.html>  
（2025年2月21日入手）
- 「第8回企画展東海道新幹線の進化」（東海旅客鉄道株式会社リニア鉄道館、2019年）
- 「JR肥薩線復興方針（案）」（JR肥薩線再生協議会、2023年12月）
- 鹿屋市鉄道記念館（聞き取り）



協力

鹿児島大学乗り物研究会

# 考え直す時期

